

Studyaid^{DB} information vol.26

Studyaid D.B. 2005 シリーズ 新製品のご案内と主な新機能のご紹介

Studyaid D.B. をご愛用いただき、誠にありがとうございます。
節目の10年目となる今年も2点の新製品を加え、ますます充実した
ラインナップとなりました。
今回は、新製品の簡単なご案内と、2005年度版で追加された機能
をご紹介します。

【2005 シリーズ】

数学入試 2005 データベース (発売中)

中学数学 2005 データベース (発売中)

New クリア+テーマ 数学ⅠAⅡBⅢC統合版 (発売中)

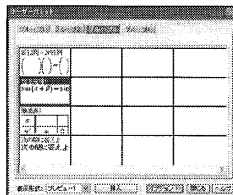
ご要望が多かったクリアーを含む問題集2点をデータ化しました。(収録問題数3997問)
これ1本でⅠAからⅢCまで対応できます。

New 2006 センター試験対策数学データベース (2006年春 発売予定)

センター試験に対応したデータベースが登場します。
平成18年度センター試験問題のほか、センター試験過去問(10年分)、
弊社センター試験演習問題集のデータが収録されます。

● 文章・数式を登録する (ユーザーパレット)

使用頻度の高い文章や数式をあらかじめ登録しておいて、
入力の手間を軽減することができるようになりました。
たとえば、「ただし $a \neq 0$ 、 $b \neq 0$ 、 $a \nparallel b$ とする。」などの
条件文や、解説で何度も使う「ただし、境界線を含む。」
というような一文を登録しておけば便利です。

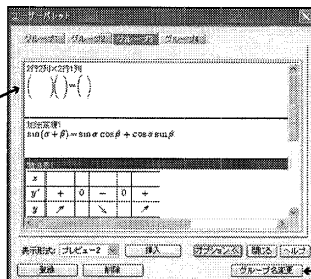


公式、増減表、行列などの基本形を、数値部分を緑のボックスのまま登録しておくことで、
ユーザーパレットから基本形を挿入 → 数値部分のみ入力、という使い方もできます。
登録内容は4つにグループ分けでき、それぞれ最大512個まで登録することができます。

基本となる形を作成して
下のような状態で登録

$$\begin{pmatrix} 1 \\ 2 \\ 3 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 4 \\ 5 \\ 6 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 7 \\ 8 \\ 9 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 10 \\ 11 \\ 12 \end{pmatrix}$$

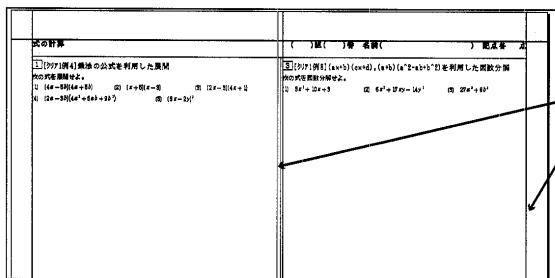
次回からは、数値のみの
入力でもOK



グループ名は
変更可能です

● 余白を自由に設定する

2005年版では、レイアウトを見ながら余白を調節することができるようになりました。



青線をドラッグするだけで
余白の変更ができます。

数値を入力して、より細かく
余白の大きさを指定する方法
もあります。

<注意>

Studyaid D.B. では、用紙サイズや段組が変更されたときに問題の体裁が崩れないようにするため、文字や図形の大きさで調整する仕組みになっています。

ですから、左右の余白を狭くしても、文字が拡大されるだけで1行に入る文字数は変わりません。1枚のプリントに入る分量を増やすために余白を設定される場合は、左右ではなく、上下の余白を減らして調節してください。

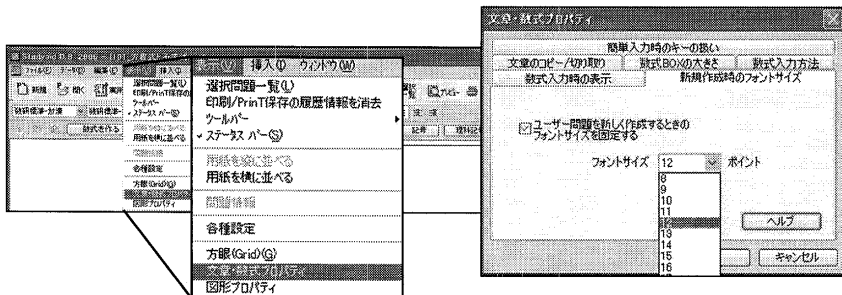
● フォントサイズの初期設定値を変更する

今回から、新しく問題を作成するときの文字のポイント数を指定できるようになりました。

通常、フォントサイズの変更は、該当箇所を反転し、画面上部の数値を変更することで行いますが、この設定をしておくと、新規問題作成時のフォントサイズが変わります。(初期設定値は10ポイント)文字のサイズを常に大きく(小さく)するという方にお勧めです。

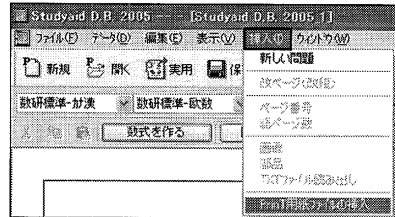
※ 検索してレイアウトしたデータベース問題には適用されません。

メニューバーの「表示」→「文章・数式プロパティ」→「新規作成時のフォントサイズ」タブで設定できます。「ユーザー問題を新しく作成するときのフォントサイズを固定する」にチェックをつけ、フォントサイズを指定してください。



● プリントごと別のプリントに挿入する

レイアウト中のプリントに、別のプリントを挿入することができます。
これを使えば、期間中に数回行ったテストを1枚にまとめたり、さらにそこから問題を選別して確認テストを作成するという作業が楽になります。



*シャッフル機能を組み合わせれば、合成したプリントの問題をランダムに並べかえることができます。

● 新たに追加されたショートカットキー

前号で、ショートカットキーをいくつかご紹介しました。
今回の2005年版でも、先生方のご要望に応じてショートカットキーが追加されています。

ユーザー問題作成に関するショートカットキー

- Ctrl+Enter 問題作成領域を10分行増やす
- Alt+S ユーザー問題の上書き保存 (問題の編集状態で操作)

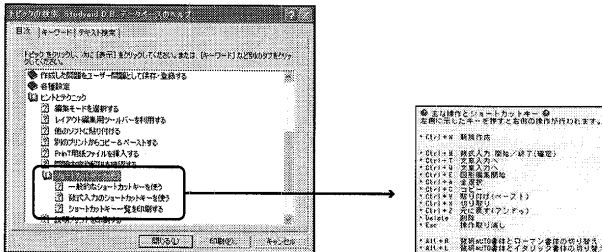
図やグラフを新しく作成するときに使用すると便利です。

文字に関するショートカットキー

- Alt+R 数研 AUTO 書体とローマン書体の切り替え
- Alt+L 数研 AUTO 書体とイタリック書体の切り替え
- Alt+A ギリシャ文字 α に対応
- Alt+B ギリシャ文字 β に対応
- Alt+C ギリシャ文字 γ に対応
- Alt+X ギリシャ文字 ω に対応

\overline{AB} や $\triangle ABC$ などを入力するときに使用すると便利です。

ショートカットキーの詳細は、メニューバーの「ヘルプ」をご覧ください。



* シャッフル機能 プリント内の問題の順序をランダムに変えることができる機能。
メニューバーの「編集」→「シャッフル (ランダムにレイアウトし直す)」